

平成26年度 公益財団法人盛岡市文化振興事業団 自己評価表

※評価の基準

- | | |
|---|-------------------|
| 1 | 目標が達成できていない |
| 2 | 目標が達成できていない面がある |
| 3 | 目標が達成できた |
| 4 | 目標よりも優れて達成できた面がある |
| 5 | 目標よりも優れて達成できた |

【法人運営】

評価項目	評価	備考
1 目的に添った運営に努めている	3	
2 職員の資質の向上に努めている	3	
3 適正な人員配置に努めている	3	
4 経費の縮減に努めている	4	
5 個人情報適正に管理されている	3	

現状と課題

・管理施設の増加や、公益法人会計の煩雑化に伴い、各館・各部での事務処理の効率化を含めた、ルール作り等を進める必要がある。
 ・管理施設の増加に伴い、業務や事業の範囲が広がってきている。このため、それぞれの分野における職員の専門性を高める研修等の実施するとともに、業務量に見合った職員数の確保等を検討する必要がある。
 ・公益財団法人への移行に伴う公益法人会計の変更や細分化、管理施設の増加に伴い、事務の細分化、業務や事業の範囲が広がってきているため、経理システム等の活用を充実させ事務の効率化や一体管理等をより一層進めていく必要がある。

【芸術鑑賞事業】

評価項目	評価	備考
1 ホール特性・設備機能を活かした事業を実施している	4	
2 市民ニーズを把握した事業を実施している	4	
3 計画通りの入場者数を達成することができた	2	
4 計画通りの収入率を達成することができた	2	
5 計画通りの来場者満足度を達成することができた	5	

現状と課題

・目標入場者数及び収入率に達しない事業もあったが、助成金等の確保により、収支的にはほぼ予算どおり執行することができた。
 ・優れた内容ながら、入場者数確保が厳しいと見込まれる事業については、早めの段階から宣伝・周知方法や販促方法の工夫などにさらに努めたい。
 ・各事業のアンケート等によると、鑑賞者の満足度は非常に高い。今後とも市民ニーズを分析しながら、各文化会館の特性を活かした事業実施に努めたい。
 ・事業規模の大きいものや、収支比率バランスの悪い事業には、外部資金導入を意識的に行ってきたが、今後も獲得に努めたい。

【文化会館活動事業】

評価項目	評価	備考
1 ホール特性・設備機能を活かした事業を実施している	4	
2 市民ニーズを把握した事業を実施している	4	
3 計画通りの参加者数を達成することができた	2	
4 計画通りの収入率を達成することができた	3	
5 計画通りの来場者満足度を達成することができた	5	

現状と課題

・コンサートや鑑賞を伴う事業の参加者は前年より増加しており、満足度も高い。
 ・体験型の講座・ワークショップでは一部定員割れの事業もあったが、参加者の満足度は高い。宣伝・周知方法などをさらに精査して工夫を図りたい。
 ・鑑賞事業との連携や新規事業の取り組みのほか、テーマや切り口を変えて実施するなど、新鮮味を保てるよう工夫を続けている。各事業担当でさらに精査をして、新たな参加者層の掘り起こしなども今後図っていききたい。

【文化会館・公民館】

○盛岡市民文化ホール

評価項目	評価	備考
1 ホールを適正に管理している	4	
2 ホールの安全・維持に努めている	3	
3 利用者の公平な利用に努めている	5	
4 利用者サービスの向上に努めている	4	
5 計画通りの来館者満足度を達成することができた	5	

○盛岡劇場・河南公民館

評価項目	評価	備考
1 施設を適正に管理している	4	
2 施設の安全・維持に努めている	3	
3 利用者の公平な利用に努めている	5	
4 利用者サービスの向上に努めている	4	
5 施設の特性を活かした公民館事業を展開している	3	
6 計画通りの来館者満足度を達成することができた	5	

○都南文化会館・都南公民館

評価項目	評価	備考
1 施設を適正に管理している	4	
2 施設の安全・維持に努めている	3	
3 利用者の公平な利用に努めている	5	
4 利用者サービスの向上に努めている	4	
5 施設の特性を活かした公民館事業を展開している	4	
6 計画通りの来館者満足度を達成することができた	5	

○洪民文化会館

評価項目	評価	備考
1 施設を適正に管理している	4	
2 施設の安全・維持に努めている	3	
3 利用者の公平な利用に努めている	5	
4 利用者サービスの向上に努めている	4	
5 施設の特性を活かした公民館事業を展開している	4	地理的特性を活かした事業も行った。
6 計画通りの来館者満足度を達成することができた	5	

現状と課題

【盛岡市民文化ホール】

- ・施設の経年劣化に伴い、年々施設修繕を必要とする箇所が増えている。計画的に修繕を実施したいが、現状は、故障等の不具合が生じた箇所の修繕実施で予算的にも余裕がない状態である。今後は、経費の見直しや増収に努める等、利用者サービスの低下を招かないよう、計画的な修繕の実施を行っていきよう工夫に努めたい。
- ・利用者からの要望や疑問等に回答する掲示板を設置したが、今後も継続して対応していくと同時に、利用者ニーズ等の把握に努めて行きたい。
- ・時期により、コンベンション関係等の利用が増加しており、地元の音楽関係団体から希望日の利用ができないことに対する意見が増えている。

【盛岡劇場・河南公民館】

- ・文化会館、公民館併設館においては、利用区分時間の相違や早開け時の料金設定等の違いなど、両施設を併せて利用する利用者対応において、不都合な点がある。利用者・管理者どちらにとっても明瞭な規定等が必要である。
- ・公民館機能を有する施設として、文化会館事業及び社会教育事業にそれぞれ精通した専門的な人材を育成を図り、地域文化コーディネーターを養成し、地域コミュニティに活力をもたらす活動支援を行う必要がある。
- ・マーケティング戦略を練るとともに、市民ニーズを常に意識した事業展開を行い、実施した事業等の結果・成果・波及効果を総合的に検証して効果的かつよりよい運営を行わなければならない。
- ・事業団が管理運営する文化会館・公民館・博物館はもとより、関連施設との連携事業を模索し「事業団らしさ」を打ち出していく。
- ・持続可能な開発のための教育(ESD)に積極的に取り組み、現代社会の課題解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、そしてそれによって持続可能な社会を創造していくことを目指す。

【都南文化会館・都南公民館】

- ・施設の経年劣化に伴い、随時可能な範囲での修繕を実施しているが、故障・不具合が発生してからの対応のみではなく、中長期的計画に基づく予防対応が必要である。特に大規模修繕については、予算措置も含め計画的な実施が必要である。また、舞台設備等の更新についても同様である。
- ・文化会館、公民館併設館においては、利用区分時間の相違や早開け時の料金設定等の違いなど、両施設を併せて利用する利用者対応において、不都合な点がある。利用者・管理者どちらにとっても明瞭な規定等が必要である。

【洪民文化会館・洪民公民館】

- ・職員で可能な範囲での修繕にも努め、経費をかけずに行える修繕にも取り組んでいる。
- ・公民館機能を有する施設として、文化会館事業及び社会教育事業にそれぞれ精通した専門的な人材育成を図り、地域文化コーディネーターを養成し、地域コミュニティに活力をもたらす活動支援を行う必要がある。

【共通】

- ・施設の経年劣化に伴い、随時可能な範囲での修繕を実施しているが、故障・不具合が発生してからの対応のみではなく、中長期的計画に基づく予防対応が必要である。特に大規模修繕については、予算措置も含め計画的な実施が必要である。また、舞台設備等の更新についても担当課へ継続して提案や協議することとしたい。

【博物館】

○先人記念館

評価項目	評価	備考
1 施設を適正に管理している	5	
2 施設の特性を活かした事業を展開している	4	
3 利用者の公平な利用に努めている	5	
4 利用者サービスの向上に努めている	4	
5 計画通りの来館者満足度を達成することができた	5	

○原敬記念館

評価項目	評価	備考
1 施設を適正に管理している	4	
2 施設の特性を活かした事業を展開している	4	
3 利用者の公平な利用に努めている	5	
4 利用者サービスの向上に努めている	4	
5 計画通りの来館者満足度を達成することができた	5	

○石川啄木記念館

評価項目	評価	備考
1 施設を適正に管理している	4	
2 施設の特性を活かした事業を展開している	4	
3 利用者の公平な利用に努めている	5	
4 利用者サービスの向上に努めている	3	
5 計画通りの来館者満足度を達成することができた	5	

○てがみ館

評価項目	評価	備考
1 施設を適正に管理している	4	
2 施設の特性を活かした事業を展開している	4	
3 利用者の公平な利用に努めている	5	
4 利用者サービスの向上に努めている	5	1501人の入館者増
5 計画通りの来館者満足度を達成することができた	5	

現状と課題

【先人記念館】

- ・現在、建物自体は経年の割には然程問題ないが、今後課題となってくるのは、節電対策等を含め、電気関係施設の劣化である。また、音声ガイド等、館内視聴覚施設の充実も、時代の流れに合わせ必要になってくると考える。
- ・ここ数年、来館者数は安定している。しかし、今後は利用者拡大のため、来館のリピートと合わせ、新しい世代への働きかけも必要であると考えられる。特に若い世代は新市場であり、これからも学校教育とのタイアップは不可欠である。
- ・館の存在や意義、活動等の周知が、今一つ十分でない様な感じを受ける。従来にも増して広報活動に工夫を加え、展示の紹介や企画の話題性、そして新鮮さもアピールすることが大事であると考えられる。広報媒体に限られていることが課題である。
- ・学芸員という専門性の高い職種の本質上、長期的な人材育成システムの構築が望まれる。
- ・解説の文字の大きさ等に対する要望があり、漸次改善を図っていく必要がある。

【原敬記念館】

- ・道路の案内板の不足については、H26年度中に市によって案内板が設置され、それに伴い来館者からの苦情が減少した。(先人記念館・原敬記念館)
- ・施設の経年劣化が顕著であり、予算内での修繕・敷地内の樹木に発生する害虫駆除等が追いつかない状況である。来館者へ不便を掛けないように、また、市の財産の適正な管理維持の為、当事業団と盛岡市教育委員会と協議しながら修繕等を速やかに実施してゆく必要がある。(原敬記念館)
- ・事務室(館長室・資料調査室)の窓に網戸がなく、空調設備もない。虫菌害・結露等資料にとって好ましくない環境である。清掃等の日常管理で予防に努めたいが、施設の改善を図りたい。(原敬記念館)
- ・収蔵庫は大正3年築、昭和55年移築された原敬別邸の倉を活用しているが、漆喰の倉とは違い、資料を長期的に保護・活用していくには好ましい環境とは言いがたい。日常の管理の徹底を図るとともに、温湿度管理・虫菌害予防を考慮した収蔵庫の新規設置が望まれる。
- ・盛岡市指定文化財である原敬生家の茅葺屋根、家屋の経年劣化が著しい。費用面からも盛岡市による長期的保全が必要と感じる。
- ・施設利用(生家開放など)について、より利用者のニーズに応えられるように工夫を図る必要がある。
- ・来館者(特に市内65歳以上の方)が大幅に減少した。広報活動にも工夫を図りたい。

【石川啄木記念館】

- ・トイレがとても古く、全体的に暗くて清潔感がない、トイレへ行くのに段差があり、身障者やお年寄りにとってとても不便であるので、リニューアルが急務である。また、展示室とトイレがつながっており、悪臭が展示室までするので不衛生である。
- ・収蔵庫の空調設備がなく、資料の保存に支障をきたしているので整備の必要がある。
- ・新しくできた洪民バイパスに看板がなく、バイパスからの道がわからず素通りされる恐れもあり、案内表示看板の設置が望まれる。
- ・企画展を常設展と同じ展示室で開催するため、展示の準備のための臨時休館がない現状では、閉館後に作業をするしかなく、職員の負担が大きい。
- ・施設の経年劣化が顕著であり、それに伴う予算内での修繕・敷地内の樹木に発生する害虫駆除等が追いつかない状況であるが、来館者へ不便を掛けないように、また、市の財産の適正な管理維持の為、当事業団と盛岡市教育委員会と協議しながら修繕等を速やかに実施してゆく必要がある。(原敬記念館・石川啄木記念館)

【盛岡てがみ館】

- ・施設内の修繕件数が増えており、展示室やロビーのガラスケースの修理や事務室の照明スイッチ、またトイレの水洗レバーの交換をした。電化製品もオープン当初に設置したものが徐々に故障しているため、新規購入をしている。
- ・収蔵庫に空調設備がないため、温湿度の管理が難しい。換気扇や除湿機などで対応しているが、資料保存のためにエアコン設置などの対策が必要である。
- ・前年度より来館者数は増加しているが、小中学校や若い年令層の入館者を増やすために、広報活動を工夫していきたい。